

講習の名称	【選択必修】 学校・家庭・地域の連携と協働の現在
講習の概要	前半は、まずは昨今の幼児および学齢児童を対象とした子育て支援・家庭教育支援事業の展開と学校との関係、次に学齢児童に対する学社連携・学社融合等、学校と地域の協働の取り組みに関して担当講師が講義を行う。後半は、講義内容に関して小グループでの討議を行う。最後に、グループ討議の成果をふまえて全体討議を行い、学校の教育活動と家庭及び地域との連携・協働の多様性および可能性について実践的な認識を深めるものとする。討議終了後、筆記試験を実施する。
担当講師	安藤 耕己（地域教育文化学部担当准教授） 本島 優子（地域教育文化学部担当准教授）
講習開設日	平成 30 年 8 月 7 日
開設時間	8:50～16:10
開催地	山形県山形市
会場・教室	地域教育文化学部 3 号館 3 階 332 講義室
対象職種	教諭、養護教諭
主な受講対象者	幼稚園 小学校 中学校
受講予定人数	26 人
受講者への連絡事項 (持ち物等)	ノート、筆記用具 事前準備：勤務先や自らが関わっている学校外での広義の教育支援活動（放課後子ども教室、学童保育、学校支援地域本部事業、NPO との協働事業子ども会やスポーツ少年団、伝統芸能の継承等々）や家庭教育支援（保護者相談、家庭訪問、子育て講座、親子サークル等々）について、その現状と学校との連携・協働等に関わっての課題等を簡単に説明できるように準備してくること（レポートのように文章化してくる必要はない）
評価基準	①全時間出席していること ②討議に積極的に参加し、自らの意見や考えが明確に示されていること ②テストの得点が 60 点以上であること
評価の観点	①講習内容を理解し、簡潔かつ明確に説明することができるか否か ②講習内容と討議における整理とをふまえ、具体的に学校・家と地域社会との協働に基づく事業や取り組みを構想できるか否か
その他特記事項	